

Hospital 病院クローズアップ

国立病院機構

名古屋医療センター

患者さんを中心に、患者さんの立場に立ち、安全で質の高い医療を提供する

当院は名古屋市中核病院として、重要な役割を担っている総合病院です。急性期の第三次救急の専門病院として、地域の中での使命をしっかりと果たしていかなければいけないと考えています。また、当院は歴史的にもがん診療に長くかかわっています。血液のがんを中心に、固形がんを含めたがん診療に強い病院として位置づけられています。

当院のもう1つの大きな特徴は臨床研究です。機構病院の中でも研究機能を期待されているため、各診療科の先生方も、研究センターも、「研究」に高い意識で望んでいます。地域医療とともに臨床研究もできるという機能があるため、それを堅持しつつ、さらに展開させていきたいと考えています。優れた医療を提供すること、あわせて臨床研究を推進して患者さんにとってより良い医療を開発していくことが大きなミッションだと考えています。

医療者や医療施設で働く人は誰しも、病める人に対して安全で質の高い医療を提供したいと思っていますのではないのでしょうか。それは研究者も同じです。直接患者さんに関わらなくても、良い研究をすれば、それがやがて患者さんのためになり、安全で質の高い医療を提供する大きな役割を果たすこととなります。最終的な目的は患者さんにより良い医療を提供すること、私たちはその目的のために努力を惜しみません。名古屋市内の急性期総合病院としてますます力を発揮しながら、臨床研究を

通じてトータルに患者さんを診ていく病院でありたいと思っています。

医療は患者さんが診察室に入ってくるころから始まります。どういう歩き方に入ってくるのか、どういう顔色で入ってくるのか、どういう特徴があるのか。座って話を始めたら、どういう話し方をして何を話すのか、情報をすべて集めながら診断に入っていきます。いろいろな情報を得て、考えて答えを出していく。患者さんは「人」なので、全身を診ることがすごく重要です。これからの時代は高齢者が増えていくこともあり、さまざまなバックグラウンドがあり、病歴も長くなります。トータルに診断できることは、とても大切です。そういう点では、内科、外科も含めてトータルに全身を診れる人が今後、求められますし、それができないと医療人として生き残っていけないのではないのでしょうか。当院は、研修医に対してトータルな教育を通して全人的に患者さんを診られる、そのような医師の育成を目指しています。

若い先生方には、学びたいことがあればどんどん挑戦してほしいですし、将来のキャリアパスがきちんと描けるようなサポートをしていきたいと考えています。



院長PROFILE

長谷川 好規 (はせがわ・よしのり)

1980年徳島大学医学部卒業。

2007年名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学教授、

2016年名古屋大学総長補佐を経て、2019年名古屋医療センター

院長に就任。

第30回日本医学会総会2019年中部総務委員長、2019年日本内科学

会総会会長、2020年日本呼吸器学会学術講演会会長、日本内科学

会筆頭副理事長、日本呼吸器学会理事、日本呼吸ケア・リ

ハビリテーション学会常任理事、日本結核病学会理事、日本アレルギー学会代議員を務める。

名古屋医療センター DATA

■所在地

愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1

<https://www.nnh.go.jp/>

■病床数

726床(一般688床、精神38床)

■診療科目

内科 / 感染症内科 / 腎臓内科 / 糖尿病・内分泌内科 / 血液内科 / 腫瘍内科 / 緩和ケア内科 / 脳神経内科 / 精神科 / 呼吸器内科 / 消化器内科 / 循環器内科 / 小児科 / 外科 / 乳腺外科 / 呼吸器外科 / 小児外科 / 形成外科 / 整形外科 / 脳神経外科 / 心臓血管外科 / アレルギー科 / リウマチ科 / 皮膚科 / 泌尿器科 / 産婦人科 / 眼科 / 耳鼻いんこう科 / 頭頸部外科 / リハビリテーション科 / 放射線治療科 / 放射線診断科 / 麻酔科 / 歯科口腔外科 / 救急科 / 病理診断科 / 臨床検査科

■研修の特色

第三次救急指定病院で精神科病棟を併設していますので、経験できる症例数や種類が豊富で、幅広い臨床研修ができます。1年次の最初に1年分のローテーションを決め、残りは上級医のアドバイスを受けながら進むことができます。そのため、柔軟なプログラムになっています。また、地域医療研修にも力を入れており、地域密着型の診療所研修や搬送のトリアージなども経験できます。



CT検査室



臨床研究センター



救命救急センター



名古屋城本丸御殿

提供 名古屋城総合事務所

名古屋医療センターのある街

日本の三大都市圏の1つ。盛んなものづくりの技が継承されている。

地元の人に「熱田さん」と呼ばれて親しまれている熱田神宮には三種の神器の1つ、伝説に登場する日本武尊が持っていたとされる草薙御剣が収められている。また、戦国時代に日本を統一へと導いた織田信長、豊臣秀吉、徳川家康といった武将はこの地域と深いかかわりがある。今から400年前、徳川家康がそれまで清須にあった街をこの地へ移転。街並みが整備されて大きく発展していった。名古屋城の東にはかつての300石級の中級武士の屋敷地などが残る。

観光の定番スポットも多く、武家文化や古い街並みを楽しむなら、名古屋城や徳川美術館、神社仏

閣巡りをするなら、熱田神宮や熱田神宮宝物館、アミューズメントに興味があるなら、リニア・鉄道館、ものづくりに興味があるなら、リタケの森やトヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館、ものづくり文化の道など、見どころがたくさんある。自分の興味のあるテーマに絞って街をそぞろ歩くのも楽しそうだ。

東西の都に挟まれながら、名古屋には独特の食文化「なごやめし」もある。味噌煮込みや味噌カツ、ひつまぶし、手羽先、あんかけスパなど、甘辛で濃い目の独特の味が揃い、名古屋を訪れる人たちの楽しみにもなっている。

